

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48 49 (18)	外出の機会が少なく、また、余暇時間等入居者が何もせずにいる事が多く、過ごし方に工夫が必要である。	入居者それぞれが、自分なりに楽しく過ごすことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ○外出(車で)の機会を月に1度は企画する。 ○施設周辺の散歩、散策。 ○レクリエーション活動を行う。 ○入居者とお話する。担当ケースとは、毎日少なくとも ○小学生や園児と交流できる。 	6ヶ月間
2	2(2)	地域との交流が少ない。また、情報発信できていない。	地域密着型施設であることの意識を持ち、地域と積極的に交流すると共に情報発信できる。	<ul style="list-style-type: none"> ○行事を企画し、地域の方々に楽しんで頂く。 ○地区定例会に出席し、情報提供及び発信する。 ○運営推進会議の場で、地域代表の方々よりご意見を頂き、施設運営に活かす。 ○近隣教育機関(小学校・保育所)と交流し、相互に理解し発展することができる。 	1年間
3	35 (13)	有事対策が不十分である。	日頃より防災意識を強く持つと共に、有事教育を行い、対処法を習得できる。	<ul style="list-style-type: none"> ○有事対策マニュアルの周知 ○防災訓練実施 ○非常食等災害物資の整備 ○隣家との防災協力関係の継続(交流継続) 	1年間
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。